

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001047
事業所名	グループホーム荒子の郷

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価 ○
	町内会加入。 地域行事への参加(運動会、餅つき大会、作品展の出品など) ホーム便りを地域の回覧で、事業、行事や、様子を住民に閲覧している。 中学の体験学習の受け入れがある。	
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価 ○
	運営、行事報告、意見交換、テーマを決め、ビデオを利用した解説(認知症、専門用語の解説など)、工夫された運営がある。 委員に家族、子供会、地域代表、薬局など様々な構成があり、地域行事、施設行事、様々な話題についての活発な意見交換があり、運営に反映されている。	
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価 ○
	経営者が医師であり、認知症専門部会にはいり、行政との交流がある。 いきいき支援センターの認知症サポーター研修参加、市のリーダー研修、いきいき支援センターでの交流会などに参加している。 「はいかい高齢者お帰り支援事業」に参加、登録している。 介護保険課、支援センターなどと日常的な交流がある。	
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価 ○
	意見箱の設置。 荒子の郷便りの発行、ホームページでの毎日のブログ更新、電話、面会時、メールなど利用し意見の把握があり、申し送り、会議、支援経過記録への記入などでの情報共有がある。	
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○		

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。